

ケア連動した記録様式

クリティカルパスのすすめ

岩下由加里

有限会社ファイブアローズ あおぞらデイサービス水戸
管理者／介護支援専門員／看護師

関東通信病院にて臨床経験を積み、関東通信病院付属高等看護学院専任教員を経て、在宅医療、介護の経営管理を経験する。現在は茨城県水戸市に有限会社ファイブアローズを弟妹と設立し、利用者の要介護度の改善を図ると共に、生き生きとした毎日を送っていただけるようあおぞらデイサービス水戸にて介護サービスを展開している。主な著書に『要介護度改善ケアガイドブック』(日総研出版)がある。



第3回

通所介護記録と ケアマネジャーへの 通所介護報告書

当事業所における 通所介護記録のポイント

当事業所の通所介護記録（資料1）は、1回のデイサービス利用で、A4の用紙1枚を使用します。一見、記録量が多くて手間が掛かりそうと感じるかもしれません、印字されている文字の量が多いだけで、実際に介護スタッフが記録する量は、さほど多くありません。

「記録に時間が掛かりすぎる」という介護現場の課題をクリアするために、「いかに時間が掛からないようにするか」という視点での工夫は、当事業所の記録における重要なポイントです。

当事業所の通所介護記録

当事業所の通所介護記録は、当事業所のアセスメント情報や、連載の第1回、2回（本誌

Vol.6, No.1, No.2）で紹介した「要介護改善介護クリティカルパス」「通所介護計画書」と連動しており、その中に記載されていた計画を実施したかどうか、また、実施した結果はどうだったのかを記録する様式になっています。次に、各項目の記載について解説します。

1) 目標と実施状況

「自律支援目標」（資料1-Ⓐ）と「自立支援目標」（資料1-Ⓑ）は、通所介護計画書に記載したものを、利用者ごとに初めから印刷しています。これにより介護スタッフは、利用者がデイサービスを利用するたびに、その利用者の目標を目にすることができます。そして、「目標に対する本日の結果」（資料1-Ⓒ）には、通所介護計画書に記載した、目標達成に向けたサービス計画の実施状況の毎日の結果として、「本日はどうだったのか」を記録します。

資料1 通所介護記録

A 自立支援目標 (生きがい、好きなことの目標)	①散歩や外出を安全にできるようになりたい ②家事仕事を安全にできるようにならない (庭仕事、掃除など) ③好きな絵画、美術作品に取り組める																																					
B 自立支援目標 (健康増進、リハビリテーションの目標)	①転倒予防のために、自主的に運動ができるようになる ②認知症の症状改善が図れる ③病気が悪化しないような規則正しい生活を送る																																					
C 目標に対する本日の結果	①他利用者の世話をしながら熱心に運動した ②学習療法は楽しく取り組んでいる ③血尿なし、痛みなし。明日受診のこと																																					
D 本日の特記事項	少々風邪気味だが入浴希望あり。バイタル安定																																					
健康チェック		血圧	脈拍	体温	サービス利用時間 10:00 ~ 16:30																																	
		124/80mmHg	76回	36.4°C																																		
わきの下、舌の乾燥確認		水分必要の理解		水分摂取指導		睡眠状況	入浴前	血圧 脈拍 体温																														
乾燥 あり・なし		(○△×)		(口頭)パンフレット ビデオ		(良)普通 不良		120/74 mmHg 70回 36.2°C																														
体重 (kg) 毎週月曜日測定		BMI 体重(58)kg ÷ 身長(1.65)m ÷ 身長(1.65)m = (21.30) * 18.5以上目標!!				入浴後	血圧 脈拍 体温																															
58.0kg		☆小数点第2以下は四捨五入する。例) 4.568 → 4.57					118/70 mmHg 68回 36.4°C																															
基本プログラム	時間	水分ml	排泄		誘導 尿意	<p>E</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">おむつ・下着種類</td> <td>排泄器具種類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(下着)ヒッププロテクター・パッド・リハビリパンツ・テープ付</td> <td>(トイレ)ポータブル・しごん・他()</td> </tr> <tr> <td>排尿便 (○は尿, ○は便)</td> <td>尿便失禁 (○は尿, ○は便)</td> <td>おむつはずし情報 (排泄場所・ おむつ交換など)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">尿意のある誘導は○, 尿意のない誘導は○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">【学びの時間】 ✓ 数並べ ✓ 計算 ✓ 読み書き</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【歩行機能訓練】 □ シルバーカー型歩行器訓練 □ ウォーカーケイン歩行訓練 □ 見守り歩行訓練 □ 介助歩行訓練 □ 車いす自走訓練 □ 大腿骨頸部骨折歩行用CP □ 大腿骨頸部骨折座位用CP □ 関節可動域訓練 ✓ 筋力増強訓練 □ 端座位訓練 □ 立位訓練 □ 座位足踏み訓練 □ 立位足踏み訓練 □ 立ち上がり訓練</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【体力テスト 毎月第1週】 ✓ 5m歩行速度計測 (4.0) ✓ 閉眼片足立ち時間計測 (10) ✓ 握力計測 (右25) (左24)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【昼食】 昼食摂取 (全量) %摂取 無 マウスケア (歯みがき) 義歯みがき うがい 無</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【おやつ】 おやつ (全量) %摂取 無 【清潔】 ✓ 入浴 ✓ 足浴 □ 洗面 □ 清拭 □ 洗髪 □ 静養 □ 爪切り 手 □ 爪切り 足 □ 耳掃除 □ ひげそり □ 陰部洗浄</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【フットケア】 □ ハンドマッサージ ✓ マッサージ器 ✓ 白癬薬塗布 □ 魚の目等ケア</td> </tr> </table> <p>F</p>			おむつ・下着種類		排泄器具種類	(下着)ヒッププロテクター・パッド・リハビリパンツ・テープ付		(トイレ)ポータブル・しごん・他()	排尿便 (○は尿, ○は便)	尿便失禁 (○は尿, ○は便)	おむつはずし情報 (排泄場所・ おむつ交換など)	尿意のある誘導は○, 尿意のない誘導は○			【学びの時間】 ✓ 数並べ ✓ 計算 ✓ 読み書き			【歩行機能訓練】 □ シルバーカー型歩行器訓練 □ ウォーカーケイン歩行訓練 □ 見守り歩行訓練 □ 介助歩行訓練 □ 車いす自走訓練 □ 大腿骨頸部骨折歩行用CP □ 大腿骨頸部骨折座位用CP □ 関節可動域訓練 ✓ 筋力増強訓練 □ 端座位訓練 □ 立位訓練 □ 座位足踏み訓練 □ 立位足踏み訓練 □ 立ち上がり訓練			【体力テスト 毎月第1週】 ✓ 5m歩行速度計測 (4.0) ✓ 閉眼片足立ち時間計測 (10) ✓ 握力計測 (右25) (左24)			【昼食】 昼食摂取 (全量) %摂取 無 マウスケア (歯みがき) 義歯みがき うがい 無			【おやつ】 おやつ (全量) %摂取 無 【清潔】 ✓ 入浴 ✓ 足浴 □ 洗面 □ 清拭 □ 洗髪 □ 静養 □ 爪切り 手 □ 爪切り 足 □ 耳掃除 □ ひげそり □ 陰部洗浄			【フットケア】 □ ハンドマッサージ ✓ マッサージ器 ✓ 白癬薬塗布 □ 魚の目等ケア		
			おむつ・下着種類						排泄器具種類																													
			(下着)ヒッププロテクター・パッド・リハビリパンツ・テープ付						(トイレ)ポータブル・しごん・他()																													
			排尿便 (○は尿, ○は便)	尿便失禁 (○は尿, ○は便)					おむつはずし情報 (排泄場所・ おむつ交換など)																													
			尿意のある誘導は○, 尿意のない誘導は○																																			
			【学びの時間】 ✓ 数並べ ✓ 計算 ✓ 読み書き																																			
			【歩行機能訓練】 □ シルバーカー型歩行器訓練 □ ウォーカーケイン歩行訓練 □ 見守り歩行訓練 □ 介助歩行訓練 □ 車いす自走訓練 □ 大腿骨頸部骨折歩行用CP □ 大腿骨頸部骨折座位用CP □ 関節可動域訓練 ✓ 筋力増強訓練 □ 端座位訓練 □ 立位訓練 □ 座位足踏み訓練 □ 立位足踏み訓練 □ 立ち上がり訓練																																			
			【体力テスト 毎月第1週】 ✓ 5m歩行速度計測 (4.0) ✓ 閉眼片足立ち時間計測 (10) ✓ 握力計測 (右25) (左24)																																			
			【昼食】 昼食摂取 (全量) %摂取 無 マウスケア (歯みがき) 義歯みがき うがい 無																																			
			【おやつ】 おやつ (全量) %摂取 無 【清潔】 ✓ 入浴 ✓ 足浴 □ 洗面 □ 清拭 □ 洗髪 □ 静養 □ 爪切り 手 □ 爪切り 足 □ 耳掃除 □ ひげそり □ 陰部洗浄																																			
【フットケア】 □ ハンドマッサージ ✓ マッサージ器 ✓ 白癬薬塗布 □ 魚の目等ケア																																						
送迎 健康チェック	9:00 (目標150ml) 150ml																																					
学びの時間 (右欄記入のこと)	10:00 (目標150ml) 150ml	○																																				
✓ 噉下体操	11:00 (目標150ml) 200ml	○○																																				
昼食 マウスケア 体操の時間	12:00 (目標150ml) 150ml																																					
ラジオ体操第一 ラジオ体操第二 みんなの体操 ✓ 転倒骨折予防体操 ✓ 散歩 ✓ 呼吸筋ストレッチ体操 □ 骨盤底筋体操	13:00 (目標150ml) 150ml																																					
趣味の時間	14:00 (目標150ml) ml																																					
(はり絵作品)																																						
おやつ 送迎	15:00 (目標150ml) 200ml	○																																				
デイサービス延長	16:00 ml																																					
	17:00 ml																																					
	18:00 (目標150ml) ml																																					
	19:00 ml																																					
	20:00 (目標150ml) ml																																					
	合計(目標1,500ml以上) 1,000ml	3・1回	回	回	回	回	記入者サイン																															

2) 特記事項

特に目標とは関係のない事項があった場合は、「本日の特記事項」(資料1-④)にその旨を記録します。

3) 水分摂取記録

当事業所では、「水分摂取」をとても大切にしており、すべての利用者に対して「1日1,500ml以上を飲めるように」という目標を掲げています。

資料1-④は、1日を通じて「水分摂取量」を記録する部分であり、その欄にはおおむねの時間と目標の摂取量を記載しています。したがって、介護スタッフはこれを見ることで、利用者へ何時に飲み物を出せばよいのかが分かります。例えば、10時の欄の「目標150ml」とは、「10時台に約150mlの飲み物を出しなさい」と計画されていることを表しています。

そして、空白部分には実際に飲んだ量を概算で記録し、最終的にはデイサービスが終了する時間までに摂取した水分量をすべて加算し、記録します。これにより、6時間から8時間のデイサービス中に、合計何ml飲んだかが把握できます。これは、「要介護度改善介護クリティカルパス」における「水分摂取1,500ml以上」という計画に対して、それを達成したかどうかが分かる記録様式として活用されます。

4) その他の実施記録 (資料1-⑤)

「水分摂取」と同じく、「記録用紙を見ればやるべきことが分かる」という考え方に基づき、清潔ケアや運動、認知症改善のための学習療法を実施したかどうかについて記録できるような仕組みになっています。なお、これらに関しては、記録時間短縮のため、多くの項目で、実施したかどうかをレ点や○でチェックする記録様式としています。

当事業所の 介護記録の記載状況

当事業所の介護スタッフは、利用者がレクリエーションをするテーブルの隅で、利用者に目を配りながら記録しています。これは、「介護をしながら事務作業もすることで、時間短縮につながる」と考えているからです。例えば、お茶を出して片付ける時には、誰がどれだけ飲んだかが分かりますので、その時にすぐ記録します。トイレに行った時も同様に、排便や排尿についてすぐ記録します。1日の業務の最後に記録をまとめて書こうとすると間違いも起こりますし、その影響で業務時間が延長することになります。基本的な習慣として「ながら記録」を実施することにより、これらの問題が解消できると考えます。

当事業所は小規模デイサービスなので、利用定員は10人です。介護スタッフは、基本的に3人体制で業務をしますので、スタッフ1人が利用者3~4人分の記録を書くことになります。1人で3人分であれば、それほど大きな負担にもなりません。これは、小規模デイサービスのメリットではないかと考えます。

ケアマネジャーへの 通所介護報告書

この記録に関しては、情報公開で求められていることを重要視しています。私は、情報公開によって、さまざまな職種との連携が要求されているように感じています。クリティカルパスの考え方も、現在は連携のためのツールとして有効だと考えますし、介護や医療にとっても、連携が重要なキーワードのように思えます。よって、記録物も連携をより促進するような内容や様式に改善していく必要があるでしょう。ケアマネジャーへの通所介護報告書も、今までには単なる文章で提出していましたが、改善を図ろうと思い、新たな様式としました。

資料2 通所介護報告書

担当ケアマネジャー 殿

平成〇〇年〇〇月分サービス報告書

利用者名 A 様

平成〇〇年〇〇月〇〇日
あおぞらデイサービス水戸
〒〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
TEL & FAX〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

記録者名 あおぞら夢子

1. サービスの実施状況（通所日数・入浴の実施回数・キャンセル回数・キャンセル理由）

サービスの種類	計画	実績	キャンセル	キャンセル理由
通所介護サービス	18回	18回	0回	
入浴介助サービス	18回	17回	1回	気分が優れないため

2. 通所介護目標の達成度（未達成の場合の根拠・理由）

通所介護目標	状況	達成度	未達成の根拠・理由
# 1 散歩や外出を安全にできるようになりたい	スタッフと一緒に散歩に行った	達成・未達成	
# 2 家事仕事を安全にできるようになりたい	雨が多く庭仕事ができない。室内掃除を行った	達成・未達成	雨のため
# 3 好きな絵画・美術作品に取り組める	大人のぬり絵に熱中している	達成・未達成	
# 4 転倒予防のために、自主的に運動ができるようになる	退院後2カ月なので、まだ体力が回復していない	達成・未達成	体力不足
# 5 認知症の症状改善を図ることができる	物忘れがひどく、困っている様子	達成・未達成	学習療法にはあまり関心なし
# 6 病気が悪化しないような規則正しい生活を送る	昼に寝ていることが多い	達成・未達成	体力不足

3. 利用者や家族の満足度や意向

C まだ体力が回復していないので、デイサービスにて疲労あり。徐々に慣れていくだろうと本人の発言あり。そのほかは満足のこと。食事がおいしいとのこと。

4. 健康状態・医療との連携

D 血尿なし。痛みもない。バイタル安定。月1回受診している様子。

5. 新たな生活課題の発生の有無と対策

E 特になし

6. ケアマネジャーへの要望・連絡事項

F 減額の手続きはどうなってありますか。教えてください。

ポイントは、ケアマネジャーのモニタリングで求められている内容を網羅することです。まず、「サービスの実施状況」(資料2-A)にサービス利用の回数などを記録し、次に「通所介護目標とその達成状況」(資料2-B)、「利用者や家族の満足度や意向」(資料2-C)、「健康状態・医療との連携」(資料2-D)、「新たな生活課題発生の有無と対策」(資料2-E)、「ケアマネジャーへの要望・連絡事項」(資料2-F)などを記載します。ケアマネジャーは、モ

ニタリングの際にこのような内容を確認することになっていますが、利用者とじっくり話す時間を探切ることが困難な場合もあります。そのための手助けという意味もありますし、デイサービスの一番重要な役割である「通所介護目標の達成状況」について記録し、ケアマネジャーへ伝えるように努めたいと考えています。

次回は、当事業所で活用しているクリティカルパスを紹介します。